

ニューズレター雪氷北信越

No. 15 平成2年9月13日

日本雪氷学会北信越支部発行

日本雪氷学会全国大会（十日町市）

まであと31日

目次

平成2年度第2回理事会報告／学習会・見学会の報告／学習会の案内／その他

理事会

平成2年度第2回理事会報告

平成2年9月8日（土）14時40分より、長岡技術科学大学建設系会議室にて、第2回理事会が開催された。

まず、十日町市にて開催される日本雪氷学会全国大会について、遠藤実行委員長より、参加申し込み状況・大会プログラム・公開シンポジウム「雪は宝物」・予算等について説明があった。さらに、招待状・案内状送付先について審議した。

次に、学会法人化のための臨時会費について審議し、北信越支部賛助会員の方々に対して、理事が分担し、主旨を説明してご協力をお願いすることとした。

本部から協力依頼のあった機関誌「雪氷」の広告充実については、本部への協力を前提に、

(1)「雪氷」には、会員が知りたい全国的な広告を載せて戴く。

(2)支部機関誌「雪氷北信越」と「雪氷」のいずれへ広告を掲載して戴く

かは広告主の意向による。

などの意見に集約された。

最後に、本年7月に発足した、「関東・中部・西日本支部」の規約などが紹介され、これらも参考にして、本支部総会にて提案された役員任期について具体案をまとめることとなった。

学習会

第2回福井地区学習会の報告

日時 1990年 7月30日 13時30～16時10

場所 福井県雪対策技術センター

参加者 18名

内容 (1) 克雪用水として芝原用水への期待と可能性について
福井県建設・雪対策技術センター 和田秀一氏
(2) 福井市における地下水と融雪用水の節水について
(話題提供者)

長岡工業高校 田村盛彰氏

センサーの動向

(株) 柿本商会 多田幹男氏

消雪用取水ポンプのインバーター制御

福井県雪対策技術センター 山本重男氏

福井市の地下水位低下

融雪計画と水問題はきわめて重要です。やや遅れていると思われる計画論へ踏み込んだ活発な討論がなされました。県外から田村先生ほか1名の参加があったことはうれしい限りでした。さっそく同先生から貴重な情報をひっぱり出した次第です。

(杉森)

見学会

富山・石川地区見学会報告

上記による「立山砂防」見学会が8月7日(火)開催され、13名の参加申し込みがあったが、当日朝になって、2名の取消しがあり、11名で建設省立山砂防工事事務所の御案内により、最初は同事務所内にある資料館「カルデラ」を見学した。そして、行き(往き)は、同事務所の砂防専用軌道で車上の人となって約2時間、ドロ柳の巨木が根を張る常願寺川上流域の砂防根拠地・水谷平に到着し、同事務所水谷出張所で昼食をした後、全国一の規模で展開されている砂防現場を見学して、そのスケールの大きさに驚嘆した。なお、道路が立派に整備されているので、山奥であるにもかかわらず車を利用することができ、そんなに歩くこともなく安政5年(1858年)に発生した高山の大崩壊地を眼前にして昔の大惨事を思い浮かべ感慨無量といったところであったが、帰りは同事務所のマイクロバスで有峰・真川林道経由により約2時間半、予定時刻(17:00)少し前に同事務所に到着し、大変有意義な見学を無事終えることが出来た。立山砂防工事事務所の皆様には、この紙面を借りて厚く御礼申し上げる次第です。

(対馬・高瀬理事 記)

学 習 会

日本雪氷学会北信越支部富山地区学習会のお知らせ

日時 平成2年9月21日18時～20時

場所 富山大学理学部2号館中会議室（2階）

話題 積雪データは語る

講師 早川典生（長岡技術科学大学工学部建設系）

初めの15分ほど支部活動の案内、雪氷関係のニュース、参加者間の情報交換を計画しています。

問い合わせ 石坂（科学文化センター：91-2123）、対馬（富山大理：41-1271）

そ の 他

『ニューズレター雪氷北信越』について

雪氷学会北信越支部では、支部会員への事業の案内や報告のために、今年度は毎奇数月10日前後に、ニューズレターを発行いたします。原稿を、毎奇数月5日までに事務局にお送り下さい。

そ の 他

「降雪リモートセンシング検証システムの開発」研究会のご案内

文部省科学研究費の標記課題に関する第1回研究会が下記の通り開催されますので、ご案内致します。

日時：平成2年10月13日（土）14:45～17:30

（長岡駅大手口8番線14:00発が便利です）

場所：長岡技術科学大学機械・建設棟8F建設系会議室

話題提供：

- | | | |
|-------------------------|----------|-------|
| (1)降雪粒子の特性とレーダ方程式 | 長岡技科大院 | 平賀 雅彦 |
| (2)雪のB-β裏話 | 名大・水圏研 | 藤吉 康志 |
| (3)降雪観測データベース | 富山高専・電気 | 村本健一郎 |
| (4)降雪予測システム | 富山高専・電気 | 椎名 徹 |
| (5)35GHz降雪観測用レーダフロントの設計 | 郵政省通信総研 | 水津 武 |
| (6)衛星リモートセンシングの今後の展望 | 長岡技科大・建設 | 小池 俊雄 |

問合先：長岡技術科学大学建設系 小池俊雄（TEL.0258-46-6000内線5124）

富山高専と(株)インテック・システム研究所の産学共同研究班主催の標記シンポジウムが下記の通り開催されますので、ご案内致します。

期日：平成2年10月18日(木)～19日(金)

場所：大山研修センター(富山県上新川郡大山町 TEL0764-83-8111)

プログラム：

10月18日(木)

開会の挨拶(13:00)

村本 健一郎(富山工業高等専門学校)

講演(13:10～17:40)

座長：対馬 勝年(富山大学・理学部)

○日本海上に発生する降雪雲の研究

遠藤 辰雄(北海道大学・低温科学研究所)

○リモートセンシングによる雪の観測

小池 俊雄(長岡技術科学大学・建設系)

○南極昭和基地における1989年の降雪観測

小西 啓之(大阪教育大学・地学教室)

○雪観測データベース

北野 孝一(株)インテック・システム研究所)

○冬期気象観測と降積雪予測システム

椎名 徹(富山工業高等専門学校)

懇親会(18:00～19:30)

場所：富山国際大学 厚生棟

10月19日(金)

講演(9:00～12:20)

座長：庄子 仁(富山大学・理学部)

○降雪中の無機イオン物質の測定

丁子 哲治・平井 英二(金沢大学・工学部)

○南極の氷床コア中の化学成分分析

宮崎 元一・大久保 登(金沢大学・薬学部)

○顕微鏡立体写真でとらえた雪片

石坂 雅昭(富山市科学文化センター)

○オゾンホールと極成層圏雲

川平 浩二(富山工業高等専門学校)

○降雪観測の今後の展望

村本 健一郎(富山工業高等専門学校)

問合先：(株)インテック・システム研究所公開シンポジウム事務局(TEL.0764-32-1285高木)

富山工業専門高等学校電気工学科 (TEL.0764-93-5446椎名)